

12/11 斗川小学校でおはなし会
お話の世界に浸る

絵本とお話を楽しむ会「ウヒアハ」（久慈英子会長）は、小中一貫三戸学園斗川小学校（盛裕子校長）で、おはなし会を行いました。おはなし会は、お話から豊かな情操を育み、読書の興味・関心を高めることを目的として行っています。おはなし会では、会員10人が昔話や外国のお話を語り、子どもたちは、興味深げに耳を傾け、お話の世界に浸りました。子どもたちは「学校にある昔話の本も読んでみたい。自分も語りに挑戦してみたい」などと話し、たくさんのお話に触れることができました。絵本とお話を楽しむ会「ウヒアハ」では、一緒に活動してくれる仲間を募集しています。【三戸町役場 住民福祉課まで ☎ 20-1151】



外国のお話を語る会員



パソコンでサイトを確認する松尾町長

12/17 「47CLUB ふるさと納税」に三戸町サイトを開設
県内初！町や町の名産品を全国にPR

全国の新聞社が地方の名産品を紹介するサイト「47CLUB」のふるさと納税特設ページに、三戸町のページを開設しました。同サイトは、10月に新規開設されてから、全国で8つの自治体が利用（12月9日現在）しており、青森県内では、三戸町が初となります。サイト内では、町の紹介やお礼品のリンゴや三戸・田子牛など約110種類を掲載しています。

松尾和彦町長は「ふるさと納税の登録サイトが増えたことで、さらに多くの人たちに三戸を応援してもらえる。それに応え、三戸町の魅力や名産品を届けていきたい」と期待を込めました。

12/22 三戸郵便局から町へ防災用品を寄贈
災害へ備えて、安心・安全な町に

三戸郵便局（橋本正俊局長）は、災害時に活用できる防災用品を町に寄贈しました。三戸郵便局は、局内で地元の特産品などの無人販売を行っており、その取り組みが日本郵便㈱から評価され、交付を受けた奨励金5万円を今回の防災用品に活用しました。橋本局長は「町と三戸郵便局は、包括連携協定を締結していることもあり、少しでも町に貢献できればうれしい」と話し、緊急簡易土のう50個、防寒・防風アルミシート50シート、簡易トイレ5パックを寄贈しました。松尾和彦町長は「町民が災害時に避難所で安心して過ごし、速やかに元の生活に戻れるように活用させていただきます」とお礼の言葉を述べました。



(左から) 橋本局長、松尾町長



新年を祝う参加者

1/5 三戸町新年会
明るい未来に向かって気持ちを新たに

三戸町民体育館で三戸町新年会を開催し、参加者約70人が新年を祝いました。松尾和彦町長は「新型コロナウイルス感染症に配慮し、新しい生活様式の定着を図り、社会経済活動が営めるよう対策をしていきたい」と新年の抱負を述べました。表彰式では、長年の功績を称え、三戸町社会教育委員の伊達よしえさんと三戸町学校歯科医の松尾将之さんが表彰を受けました（詳細は20ページ）。ことしは、新型コロナウイルス感染症予防のため、参加人数を限定しての実施となりました。

12/4 櫻井きくのさん 100歳頭彰の表彰を受ける
いつまでも、お元気で

櫻井きくのさんが、めでたく100歳の誕生日を迎えました。長男の櫻井政信さん（76歳）が役場を訪れ、松尾和彦町長から頭彰状と記念品として三戸町産の百年紅玉果汁を使用したジュース2本を受け取りました。きくのさんは、大正9年12月4日に旧猿辺村で生まれ、結婚して子5人、孫11人、ひ孫4人の子宝にも恵まれています。施設に入所するまでは、自宅で葉タバコの栽培やブロイラーの飼育などを行っていました。また、婦人会会長として、地域にとっても貢献されてきました。政信さんは「母は、おっとりした性格で、休日は編み物をして過ごしていました。90歳になっても、仕事をする働き者でしたよ」と笑顔で話しました。後日、有料老人ホームこのはずくで、お誕生日会が行われ、きくのさんの長寿を祝いました。



めでたく100歳を迎えた笑顔のきくのさん



フィリピンの高校生とオンライン交流をする8年生の生徒たち

1/5~7 小中学生対象のオンライン留学を開催
異文化に触れながら楽しく学ぶ

三戸町教育委員会は、8年生を対象に姉妹都市のタムワースへ派遣する「中学生海外研修派遣事業」と、新規事業英語スペシャリスト養成のための「小学生イングリッシュキャンプ事業」の代替事業として、新型コロナウイルス感染症のリスクを最低限に抑え、オンラインによる短期留学を実施しました。この事業は、5年生3人、6年生3人、8年生7人の計13人が参加。外国人教師と1対1の英会話や研修、フィリピンの高校生とのオンライン国際交流などを行うことで、英語力の向上や異文化に対する理解を深めました。

8年生の北村彩華さんは「初日は話すことに緊張したけれど、優しいフィリピンの人たちと交流しながら楽しく英語を学べました」と感想を話しました。

1/16 さんのへ農業小学校第10期生卒業式
農業と食の大切さを振り返って

さんのへ農業小学校第10期生の卒業式が三戸町中央公民館で行われ、20人の児童が卒業しました。子どもたちは、田植えや収穫、販売などを体験し、農業を通じて食の大切さを学びました。

栗生正志校長は「雨にも負けず、元気いっぱいの皆さんと一緒に、たくさんの体験ができて嬉しく思います」と式辞を述べ、卒業を祝いました。

子どもたちは「販売体験で、自分たちが作ったものをたくさんの人に買ってもらって嬉しかった。リンゴがうまく収穫できて嬉しかった」など、それぞれの思い出を語り、大きく成長したようです。この日、卒業記念品として、子どもたちが収穫・加工したリンゴジュースが贈られました。



卒業おめでとう！